

## EU



## 1 農・畜産業の概況

EUは、加盟国（2013年時点28カ国）全体で国土全体の約40%となる1億7461万ヘクタールの農用地面積を有し、農業経営体数は1084万戸、1戸当たり農用地面積は16.1ヘクタールである（表1）。2016年のGDPに農林水産業が占める割合は2.6%であった。

2016年の農業生産額は、3903億660万ユーロと前年を2.5%下回った。このうち、約4割に相当する

1601億8040万ユーロを畜産が占めており、EU農業の主要部門となっている（図1）。畜産の内訳を見ると、生乳が496億1209万ユーロ（農業全体の約13%）、牛肉・子牛肉が336億8227万ユーロ（同約9%）、豚肉が345億4645万ユーロ（同約9%）、卵・家きんが301億1285万ユーロ（同約8%）である。

表1 主要農業経済指標

国名／区分	農用地面積	農業労働人口	農業経営体数	1戸当たり農用地面積	農業生産額
	(千ヘクタール)	(千人)	(千戸)	(ヘクタール)	(百万ユーロ)
	2013年	2013年	2013年	2013年	2016年
ベルギー	1,307.9	56.7	37.8	34.6	7,946.0
ブルガリア	4,650.9	320.2	254.4	18.3	3,891.8
チェコ	3,491.5	105.1	26.3	133.0	4,759.0
デンマーク	2,619.3	53.2	38.3	68.4	9,661.2
ドイツ	16,699.6	522.7	285.0	58.6	51,576.8
エストニア	957.5	22.1	19.2	49.9	710.5
アイルランド	4,959.5	163.7	139.6	35.5	7,419.6
ギリシャ	4,856.8	463.9	709.5	6.8	9,761.7
スペイン	23,300.2	813.6	965.0	24.1	46,902.8
フランス	27,739.4	724.7	472.2	58.7	68,216.1
クロアチア	1,571.2	175.1	157.4	10.0	2,120.6
イタリア	12,098.9	816.9	1,010.3	12.0	49,153.7
キプロス	109.3	16.6	35.4	3.1	652.9
ラトビア	1,877.7	82.1	81.8	23.0	1,207.6
リトアニア	2,861.3	144.8	171.8	16.7	2,517.2
ルクセンブルク	131.0	3.5	2.1	63.0	375.6
ハンガリー	4,656.5	433.7	491.3	9.5	8,130.0
マルタ	10.9	4.5	9.4	1.2	119.4
オランダ	1,847.6	153.3	67.5	27.4	26,273.7
オーストリア	2,726.9	111.2	140.4	19.4	6,396.7
ポーランド	14,409.9	1,918.6	1,429.0	10.1	22,323.2
ポルトガル	3,641.6	323.5	264.4	13.8	6,758.1
ルーマニア	13,055.9	1,552.6	3,629.7	3.6	14,036.1
スロベニア	485.8	82.5	72.4	6.7	1,222.0
スロバキア	1,901.6	50.6	23.6	80.7	2,273.2
フィンランド	2,282.4	57.6	54.4	42.0	3,801.1
スウェーデン	3,035.9	59.3	67.2	45.2	5,666.4
英国	17,327.0	274.5	183.0	94.7	26,433.7
EU28カ国	174,613.9	9,506.4	10,838.3	16.1	390,306.6

資料：欧州委員会「Eurostat」



より買い入れが実施できることとなっている。

また、脱脂粉乳は、各年3月1日～9月30日の間、市場価格が介入価格（100キログラム当たり169.80ユーロ）を下回った場合、加盟国の介入機関を通じて一定規格のものを買い入れる。なお、当該年の介入買入数量が買入限度数量の10万9000トンに達した場合、入札により買い入れが実施できることとなっている。

### ウ 民間在庫補助

2014年以降の新たなCAPでは、バター、脱脂粉乳およびチーズを対象に、大幅な価格の下落など欧州委員会が必要と認めた場合、一定量を一定期間、在庫として保管する業者に対し、保管経費の補助が行われる。

### エ 輸出補助金

EUには、乳製品の国際競争力を高め、輸出を促進するため、チーズ、バター、脱脂粉乳などの輸出に対して輸出補助金を交付する制度がある。輸出補助金の単価は、域内の市場価格と国際価格との差に基づき、品目ごと、輸出先ごとに販売・輸送コストなどを勘案して設定される。なお、2010年以降は、全ての乳製品で輸出補助金の発動はない。

### オ 域内消費の促進

乳製品に関連した補助として、牛乳やチーズなどの学校給食用消費などに対する補助が行われている。

## ② 生乳の生産動向

### ア 酪農経営体数

EUの酪農経営体数は、景気の低迷や大規模化などを背景として小規模層を中心に減少傾向にあり、2013年は148万戸と、前回調査（2010年）から15%減少した（表2）。

表2 酪農経営体数、乳用経産牛飼養頭数および

1戸当たり飼養頭数の推移

（単位：千戸、千頭、頭/戸、%）

区分/年	2012	2013	2014	2015	2016	増減率
酪農経営体数	-	1,484.7	-	-	-	-
経産牛飼養頭数	23,012	23,468	23,559	23,594	23,525	▲ 0.3
1戸当たり経産牛飼養頭数	-	15.8	-	-	-	-

資料：欧州委員会「Eurostat」

注1：経産牛飼養頭数は、各年12月末現在のもの。

注2：2012年まではEU27カ国。2013年以降はEU28カ国。

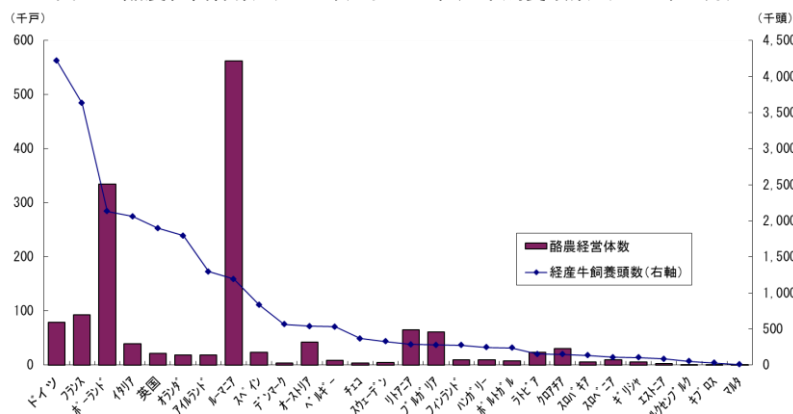
### イ 飼養頭数

経産牛飼養頭数は、増産意欲の高まりから増加傾向で推移してきたが、生乳生産者価格の低迷を主因とした経産牛の淘汰により、2016年は減少に転じ、前年をわずかに下回る2353万頭となった。

国別で見ると、頭数の多い順に、ドイツ422万頭、フランス363万頭、ポーランド213万頭、イタリア206万頭、英国190万頭、オランダ179万頭、アイルランド130万頭となり、これら7カ国でEU全体の約7割を占める（図2）。

2013年の1戸当たり経産牛飼養頭数は15.8頭で、2010年から16%増加した。国別では、1戸当たり経産牛飼養頭数の最も多いのがデンマークの155頭であるのに対し、ルーマニアは2.1頭、ブルガリア、リトアニアはともに4.6頭であり、加盟国間の差が大きい。

図2 酪農経営体数（2013年）および経産牛飼養頭数（2016年12月）



資料：欧州委員会「Eurostat」

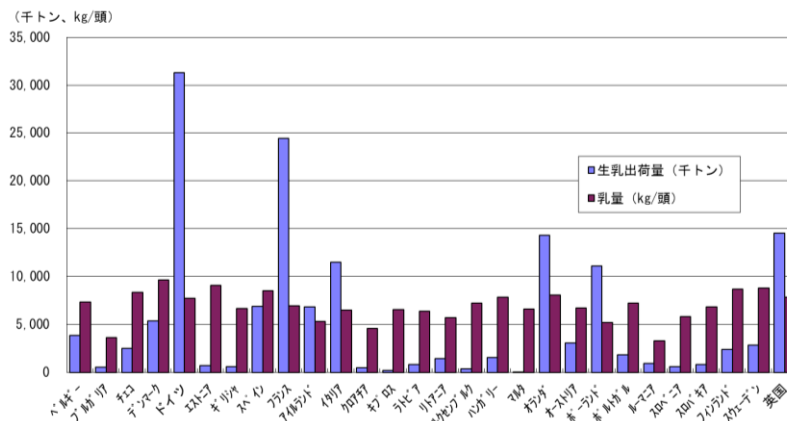
### ウ 経産牛1頭当たり乳量

2016年の経産牛1頭当たり乳量は、6948キログラムとなった。ただし、第1位のデンマークの9621キログラム、第2位のスウェーデンの8777キログラムに対し、下位にある東欧圏のブルガリア、ルーマニアはそれぞれ3000キログラム台となっており、加盟国間での差は大きい(図3)。

### エ 生乳出荷量

2016年の生乳出荷量は、前年とほぼ同水準の1億5210万トンとなった。国別では、出荷量の多い順に、ドイツ3132万トン、フランス2445万トン、英国1455万トン、オランダ1432万トン、イタリア1152万トン、ポーランド1113万トンとなり、これら6カ国でEU全体の生産量の約7割を占める。

図3 生乳出荷量および経産牛1頭当たり乳量(2016年)



資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

## ③ 牛乳乳製品の需給動向

### ア 飲用乳

2016年の飲用乳(乳飲料、ヨーグルトなどを含む)生産量(販売量)は3070万トンで、1人当たり飲用乳(同)消費量は平均で59.4キログラムと前年を下回った(表3)。

表3 1人当たり年間飲用乳消費量の推移

(単位：kg/人、%)

国/年	2012	2013	2014	2015	2016	増減率
ベルギー	50.5	49.3	51.8	49.7	46.7	▲ 6.0
ブルガリア	20.1	20.7	19.4	19.1	-	-
チェコ	58.5	60.4	59.7	60.1	60.1	0.0
デンマーク	90.9	90.8	89.9	87.6	86.8	▲ 0.9
ドイツ	52.0	52.7	54.7	52.8	51.7	▲ 2.1
ギリシャ	49.5	46.6	47.3	46.6	-	-
エストニア	115.6	122.3	118.5	102.3	99.1	▲ 3.1
スペイン	83.2	83.6	80.8	80.5	78.6	▲ 2.4
フランス	54.2	54.4	53.0	51.6	49.6	▲ 3.9
アイルランド	121.2	118.4	118.7	122.4	125.0	2.1
イタリア	55.7	53.5	50.7	49.2	47.7	▲ 3.0
クロアチア	-	63.6	67.4	58.2	55.5	▲ 4.6
ラトビア	36.5	37.6	39.5	38.4	46.1	20.1
リトアニア	29.4	32.0	33.7	33.8	36.9	9.2
ハンガリー	50.6	50.5	48.3	50.5	52.8	4.6
オランダ	49.4	47.6	45.5	49.3	49.4	0.2
オーストリア	78.2	76.9	76.7	76.4	76.6	0.3
ポーランド	36.3	39.4	38.6	38.9	38.8	▲ 0.3
ポルトガル	81.7	79.8	79.9	72.2	-	-
ルーマニア	13.2	13.2	14.5	15.4	-	-
スロバキア	54.4	49.4	48.5	48.3	49.6	2.7
フィンランド	132.4	131.4	128.6	125.0	120.0	▲ 4.0
スウェーデン	91.9	91.8	85.5	85.4	81.8	▲ 4.2
英国	106.3	106.4	103.9	97.7	92.6	▲ 5.2
EU27カ国/ EU28カ国	62.2	62.3	61.7	59.9	59.4	▲ 0.8

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

注1：2016年は暫定値。

2：2012年はEU27カ国。2013年からはEU28カ国。

イ バター

EUは、インドに次ぐ世界第2位のバター生産地域であり、世界の生産量の2割以上を占める。

2016年のバター生産量（バターオイルを含む）は、EU域内外の需要の高まりなどにより、前年比1.5%増の232万トンとなった（表4）。主な生産国は、ドイツとフランスであり、2カ国で4割強を生産する（図4）。

2016年のEU域外輸出量は、同16.9%増の21万トンとなった。主な輸出先は、米国やサウジアラビア、エジプトである。2014年8月からのロシアの禁輸による減少分を、他の輸出先で補っている。なお、域外からの輸入量は2万トンであった。

表4 バター需給の推移

区分/年	2012	2013	2014	2015	2016	増減率
生産量	2,105	2,090	2,195	2,280	2,315	1.5
うち乳業工場	2,078	2,069	2,178	2,260	2,297	1.6
農家	27	21	17	20	18	▲10.0
輸入量	44	42	50	24	21	▲12.5
輸出量	127	128	148	178	208	16.9
在庫量（12月末）	100	95	125	135	125	▲7.4
域内消費量	2,002	2,009	2,067	2,116	2,138	1.0
1人当たり消費量（kg）	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	0.0

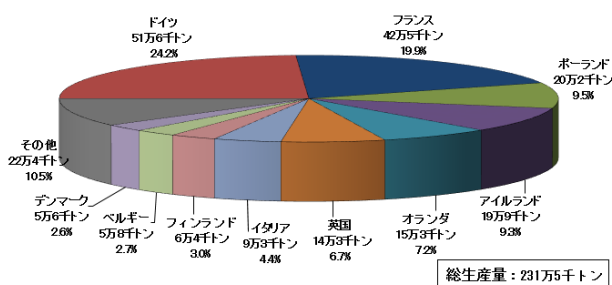
資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

注1：生産量にはバターオイルを含む。

2：2016年は暫定値。

3：2012年はEU27カ国。2013年からはEU28カ国。

図4 バターの国別生産量（2016年）



資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

注：EU28カ国。

2016年のバター消費量は、前年比1.0%増の214万トンとなった。1人当たり消費量は、前年同の4.2キログラムとなった。国別では、2大生産国であるフランス（8.2キログラム）およびドイツ（6.1キログラム）、デンマーク（6.4キログラム）での消費が多い。一方、オリーブ油など植物油脂の消費が多いイタリア（2.3キログラム）などでは少ない（表5）。

表5 1人当たりバター消費量の推移

（単位：kg/人、%）

国/年	2012	2013	2014	2015	2016	増減率
ベルギー	2.5	2.3	2.3	2.3	2.3	0.0
ブルガリア	0.8	0.9	0.9	1.0	-	-
チェコ	5.2	5.0	5.1	5.5	5.4	▲1.8
デンマーク	2.5	3.9	4.9	5.0	6.4	28.0
ドイツ	6.1	5.8	5.7	6.1	6.1	0.0
ギリシャ	0.6	0.7	0.7	0.8	-	-
エストニア	2.5	1.5	2.2	1.6	2.8	75.0
スペイン	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.0
フランス	7.3	7.7	8.4	8.2	8.2	0.0
アイルランド	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	0.0
イタリア	2.3	2.4	2.3	2.4	2.3	▲4.2
クロアチア	-	1.0	1.2	1.6	1.5	▲6.3
ラトビア	2.8	2.3	2.8	2.8	3.2	14.3
リトアニア	2.8	2.6	3.0	3.3	3.8	15.2
ハンガリー	1.0	1.0	1.2	1.4	1.8	28.6
オランダ	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0
オーストリア	5.0	5.3	5.4	5.0	5.3	6.0
ポーランド	3.9	4.0	4.1	4.3	4.5	4.7
ポルトガル	1.5	1.7	1.9	1.8	-	-
ルーマニア	0.6	0.7	0.8	1.0	-	-
スロバキア	3.2	3.0	3.2	3.6	3.9	8.3
フィンランド	4.5	3.7	3.2	3.3	3.3	0.0
スウェーデン	3.0	2.2	2.3	2.5	2.5	0.0
英国	3.4	3.2	2.9	3.1	2.6	▲16.1
EU27カ国/ EU28カ国	4.0	4.0	4.1	4.2	4.2	0.0

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

注1：2016年は暫定値。

2：2012年はEU27カ国。2013年からはEU28カ国。

ウ 脱脂粉乳

EUは、世界最大の脱脂粉乳生産地域であり、世界の生産量の4割弱を占める。

2016年の脱脂粉乳生産量は、前年比0.9%減の169万トンとなった（表6）。主な生産国は、ドイツとフランスであり、バター同様2カ国で約5割を生産する（図5）。消費量は同1.1%減の90万トンであった。

脱脂粉乳については、低迷した市況改善を目的に、2015年7月から2016年9月までに行われた公的買い入れにより、35万トンを超える公的在庫を抱えていたが、脱脂粉乳の卸売価格が上昇したことから、2016年12月から公的在庫の放出が始まった。

2016年のEU域外輸出量は、同17.1%減の57万トンとなった。主な輸出先は、地理的に近いアルジェリア、エジプトなどのアフリカ諸国の他、中国およびインドネシア、フィリピン、タイなどの東南アジアである。

表6 脱脂粉乳需給の推移

（単位：千トン、%）

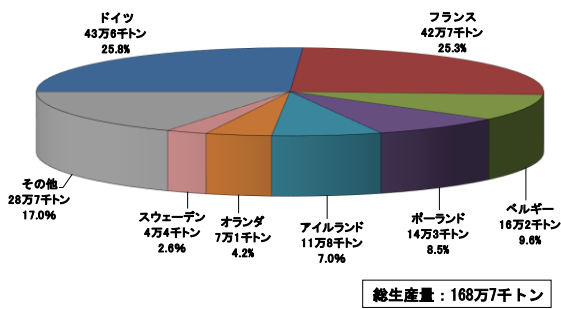
区分/年	2012	2013	2014	2015	2016	増減率
生産量	1,227	1,222	1,592	1,702	1,687	▲0.9
輸入量	2	5	2	3	4	33.3
輸出量	524	407	648	692	574	▲17.1
介入在庫量（12月末）	0	0	0	29	351	1,110.3
域内消費量	800	803	856	905	895	▲1.1

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

注1：2016年は暫定値。

2：2012年はEU27カ国。2013年からはEU28カ国。

図5 脱脂粉乳の国別生産量 (2016年)



資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」  
注：EU28カ国。

エ チーズ

EUは、世界最大のチーズ生産地域であり、世界の生産量の5割強を占める。

2016年のチーズ生産量は、東欧諸国の消費拡大により域内需要が堅調に推移したことなどから、前年比2.5%増の1023万トンとなった(表7)。主な生産国は、ドイツとフランスであり、2カ国で4割強を生産する(図6)。

表7 チーズ需給の推移

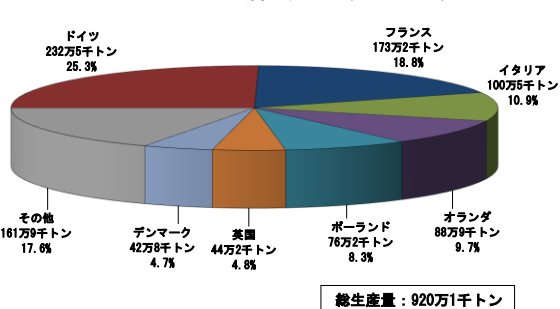
区分/年	2012	2013	2014	2015	2016	増減率
生産量	9,409	9,590	9,704	9,981	10,229	2.5
うち乳業工場(生乳原料)	8,576	8,772	8,864	9,026	9,201	1.9
農家(生乳原料)	105	105	105	105	105	0.0
その他(生乳原料)	728	713	735	850	923	8.6
輸入量	76	75	77	61	71	16.4
輸出量	778	788	721	720	801	11.3
域内消費量	8,942	9,122	9,250	9,515	9,780	2.8
1人当たり消費量(kg)	17.9	18.1	18.2	18.7	19.2	2.7

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

注1：2016年は暫定値。

注2：2012年はEU27カ国。2013年からはEU28カ国。

図6 チーズの国別生産量 (2016年)



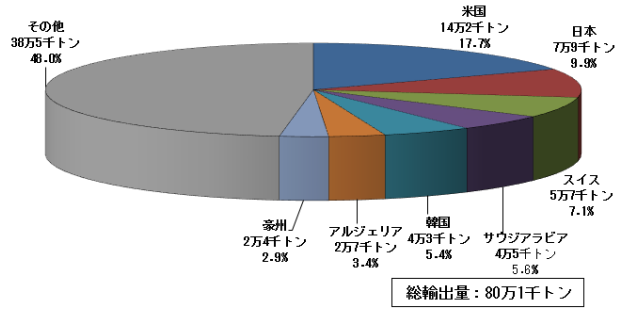
資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

注1：EU28カ国。

注2：生産量のうち乳業工場生産分。

2016年のEU域外輸出量は、同11.3%増の80万トンとなった。主な輸出先は、輸出量の多い順に、米国(14万トン)、日本(7.9万トン)、スイス(5.7万トン)となっている(図7)。ロシアの禁輸措置の影響が最も大きかった品目ではあるが、ロシアに代わり他の輸出先が増加した。

図7 チーズの輸出先国 (2016年)



資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」  
注：EU28カ国。

チーズの消費量は増加傾向にあり、2016年は978万トンであった。1人当たりでは19.2キログラムであるが、加盟国間でかなりの差があり、フランス(27.2キログラム)、ドイツ(24.5キログラム)などが多い一方、スペイン(9.0キログラム)などは少ない(表8)。

表8 1人当たりチーズ消費量の推移

(単位：kg/人、%)

国/年	2012	2013	2014	2015	2016	増減率
ベルギー	15.3	15.0	15.2	14.8	15.0	1.4
ブルガリア	15.8	16.4	15.8	15.6	-	-
チェコ	16.6	16.2	16.5	16.5	17.6	6.7
ドイツ	23.8	23.7	24.1	24.6	24.5	▲0.4
ギリシャ	22.9	22.5	22.5	22.3	-	-
エストニア	21.0	21.3	21.5	16.3	20.0	22.7
スペイン	9.3	9.5	9.6	8.9	9.0	1.1
フランス	26.1	26.2	26.7	27.0	27.2	0.7
アイルランド	10.7	10.8	11.2	13.8	-	-
イタリア	21.4	22.3	22.3	22.1	21.5	▲2.7
クロアチア	-	10.2	11.2	12.3	13.0	5.7
ラトビア	16.0	18.1	17.4	19.8	19.8	0.0
リトアニア	17.5	20.0	18.6	18.3	17.4	▲4.9
ハンガリー	11.5	11.0	11.6	12.9	13.2	2.3
オランダ	21.3	20.1	18.2	23.2	21.6	▲6.9
オーストリア	20.5	20.0	21.6	21.5	23.0	7.0
ポーランド	15.6	15.6	15.4	16.1	17.3	7.5
ポルトガル	9.3	9.8	10.5	10.9	-	-
ルーマニア	5.2	5.4	5.8	6.6	-	-
スロベニア	14.1	14.1	14.5	14.8	-	-
スロバキア	10.1	11.4	11.5	12.3	14.0	13.8
フィンランド	23.7	24.7	25.7	27.1	27.3	0.7
スウェーデン	19.7	19.7	20.6	20.7	20.5	▲1.0
英国	11.4	11.4	11.5	11.9	11.7	▲1.7
EU27カ国/ EU28カ国	17.9	18.1	18.2	18.7	19.2	2.7

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

注1：2016年は暫定値。

注2：2012年はEU27カ国。2013年からはEU28カ国。

## ④ 生乳および牛乳・乳製品の価格動向

### ア 生乳生産者価格

生乳生産者価格は、リーマンショックに端を発した景気後退などを要因に、欧州酪農危機といわれた2009年前後に大きく低迷した。その後、国際需要の回復などで上昇傾向にあったが、2015年3月末のクォータ制度廃止による生乳生産の増加により、2016年は前年比7.8%安の100キログラム当たり27.75ユーロに下落した(表9)。

表9 生乳生産者価格の推移

(単位：ユーロ/100kg、%)

国/年	2012	2013	2014	2015	2016	変動率
ベルギー	30.19	37.22	36.00	27.93	26.70	▲ 4.4
ブルガリア	30.54	33.67	34.58	28.54	27.22	▲ 4.6
チェコ	29.61	31.76	33.01	27.20	23.99	▲ 11.8
デンマーク	34.04	38.63	39.67	31.03	28.83	▲ 7.1
ドイツ	31.78	37.51	37.58	29.29	26.73	▲ 8.7
エストニア	30.04	33.81	32.70	23.70	23.77	0.3
ギリシャ	45.08	44.42	43.18	41.84	38.65	▲ 7.6
スペイン	30.89	34.31	35.18	30.15	29.12	▲ 3.4
フランス	30.56	33.40	35.48	30.65	28.52	▲ 6.9
アイルランド	32.29	38.31	37.66	29.74	28.10	▲ 5.5
イタリア	37.31	39.61	40.66	35.08	33.58	▲ 4.3
クロアチア	32.01	34.20	35.60	32.59	29.77	▲ 8.7
キプロス	52.69	57.52	56.50	56.50	56.00	▲ 0.9
ラトビア	27.63	30.57	29.25	21.68	21.72	0.2
リトアニア	22.91	27.40	24.85	18.69	18.27	▲ 2.2
ハンガリー	30.43	33.47	33.36	25.70	23.59	▲ 8.2
オランダ	32.87	39.65	39.98	32.45	30.22	▲ 6.9
オーストリア	32.49	36.13	38.11	32.35	29.77	▲ 8.0
ポーランド	27.83	30.85	31.63	26.44	24.65	▲ 6.8
ポルトガル	30.59	33.55	34.86	29.66	27.77	▲ 6.4
ルーマニア	24.08	26.38	27.29	25.28	24.95	▲ 1.3
スロベニア	30.14	32.30	34.67	28.33	25.28	▲ 10.8
スロバキア	29.63	32.79	33.65	27.52	24.98	▲ 9.2
フィンランド	44.97	45.88	44.29	37.59	37.08	▲ 1.4
スウェーデン	35.76	39.60	38.64	31.54	30.70	▲ 2.7
英国	33.56	36.16	38.05	32.72	26.74	▲ 18.3
EU28カ国	32.00	35.90	36.60	30.10	27.75	▲ 7.8

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

注1：3.7%脂肪分のもの。

ただし、フランスは3.8%、ドイツの2010年以降は4.0%脂肪分のもの。

2：2012年はクロアチアを含む。

### イ 飲用乳小売価格

ドイツを見ると、全脂乳(乳脂肪3.5%以上)の小売価格は、1リットル当たり1.05ユーロ(前年比2.8%安)であった(表10)。

表10 ドイツの飲用生乳小売価格の推移

(単位：ユーロ/リットル、%)

区分/年	2012	2013	2014	2015	2016	変動率
全脂乳 (乳脂肪1.6%~3.5%)	0.60	0.70	0.74	0.65	0.62	▲ 4.6
全脂乳 (乳脂肪3.5%以上)	0.95	1.02	1.09	1.08	1.05	▲ 2.8
UHT牛乳 (乳脂肪1.5%以下)	0.52	0.62	0.68	0.59	0.56	▲ 5.1

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

### ウ バター卸売価格

2016年のバター卸売価格(工場渡りまたは倉庫渡し)は、主要国で軒並み前年を上回った(表11)。

表11 主要国のバター卸売価格の推移

(単位：ユーロ/kg、%)

国/年	2012	2013	2014	2015	2016	変動率
フランス	3.07	4.00	3.37	3.02	3.33	10.3
ドイツ	3.06	3.95	3.36	3.01	3.34	11.0
オランダ	3.02	3.91	3.31	2.96	3.26	10.1
英国	3.14	3.99	3.37	2.99	5.17	73.1
イタリア	2.94	3.83	3.39	2.98	3.24	8.7
ベルギー	3.07	3.97	3.34	3.00	3.28	9.3

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

注：工場渡りまたは倉庫渡りの価格で付加価値税は含まない。

### エ 脱脂粉乳卸売価格

2016年の脱脂粉乳卸売価格(工場渡し)は、主要国で軒並み前年を下回った(表12)。

表12 主要国の脱脂粉乳卸売価格の推移

(単位：ユーロ/kg、%)

国/年	2012	2013	2014	2015	2016	変動率
ドイツ	2.20	2.91	2.38	1.68	1.64	▲ 2.4
フランス	2.37	3.05	2.63	1.85	1.82	▲ 1.6
オランダ	2.33	3.03	2.58	1.81	1.80	▲ 0.6
ベルギー	2.41	3.11	2.69	1.90	1.84	▲ 3.2

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

注：工場渡りの価格で付加価値税は含まない。

### オ チーズ卸売価格

2016年のチーズ卸売価格(工場渡し)は国・区分ごとに異なり、英国・チェダーの下落率が大きかった(表13)。

表13 主要国のチーズ卸売価格の推移

(単位：ユーロ/kg、%)

国・区分/年	2012	2013	2014	2015	2016	変動率
ドイツ エメンタール45%	4.96	5.33	5.56	5.38	5.47	1.7
英国 チェダー	3.61	3.90	3.78	3.25	3.06	▲ 5.9
ベルギー チェダー	3.19	3.74	3.49	2.79	2.83	1.4
イタリア グラナ・パダーノ	8.82	8.29	7.79	7.40	7.53	1.8
ポーランド エメンタール	3.36	3.72	3.92	3.26	3.20	▲ 1.8

資料：AMI「Markt Bilanz Milch 2018」

注：工場渡りの価格で付加価値税は含まない。

## (2) 肉牛・牛肉産業

2016年のEU（加盟28カ国）の牛肉生産量は、世界の生産量の約1割を占めている。

EUは気候・地理・歴史的条件に応じて、多種多様な品種の牛（肉用種、乳用種、乳肉兼用種）が飼養されており、牛肉の生産構造や牛肉に供する牛の種類（子牛、経産牛、去勢牛、雄牛など）は、国によってかなり異なっている。EUの牛肉自給率は、2001年には103%であったが、同年のBSE問題の再燃などにより生産量が減少傾向となり、2003年以降は牛肉の純輸入地域となった。その後も2013年にアイルランドで発覚した牛肉加工製品への馬肉混入事件の影響などによる消費者離れなどがあつたが、BSE管理の徹底などにより輸出量を増加させるなどし、2010年以降、自給率は100%前後で横ばいで推移している。

EUは、酪農が盛んな地域であり、全体のと畜頭数のうち約3分の2が乳用種となっている。そのため、酪農部門の拡大や縮小といった動向が牛肉生産量に大きな影響を与える。2015年3月末の生乳生産割当（クォータ）制度の廃止を見越して酪農部門の飼養頭数が拡大していた中、2016年は、生乳生産者価格の低迷を主因として経産牛の淘汰が進んだことから、2016年の牛肉生産量は前年比2.5%増となった。

### ① 主な政策

#### ア 介入買い入れ

域内の牛肉価格が下落した場合、加盟国の介入機関を通じて、一定基準を満たす牛肉を買い入れ、市場から隔離することにより、価格支持を行っている。具体的には、枝肉のEU平均市場価格が2週間にわたって1トン当たり1560ユーロの介入価格を下回る場合、介入買い入れが行われる。

#### イ 民間在庫補助

EU市場で、R3（形態および脂肪ともに中間に位置する）に格付けされた雄牛について枝肉基本価格を100キログラム当たり222.4ユーロと定め、EU平均市場価格が枝肉基本価格の103%を下回り、それが継続する可能性がある場合、一定量を一定期間、在庫と

して保管する業者に対し、保管経費の補助が行われる。

#### ウ 直接支払い

2003年のCAP改革により、生産にリンクした直接支払いは、原則廃止されたが、加盟国レベルで、生産維持を目的に生産とリンクした直接支払いを実施することは可能となっている。

#### エ 輸出補助金

EU産牛肉の国際競争力を維持し、輸出を促進するため、輸出補助金を交付できる仕組みがある。輸出補助金の単価は、域内の市場価格と国際価格との差に基づき、品目ごと、輸出先ごとに設定される。

#### オ BSE関連対策

動物性たんぱく質の飼料利用の全面禁止、食肉に供される牛からの特定危険部位の除去などのBSE対策などが実施されている。講じられる対策の有効性を検証するため、72カ月齢超の食用向けの健康な牛に対するBSEモニタリング検査などが実施されている（ブルガリアおよびルーマニアは48カ月齢超）

## ② 肉牛の生産動向

### ア 牛飼養経営体数

EUの牛飼養経営体数（乳牛を含む）は、大規模化などを背景として小規模層を中心に減少傾向にあり、2013年は228万戸と、前回調査（2010年）から13%減少した（表14）。

牛飼養経営体数は、2013年のEUの全農業経営体数（1084万戸）の約2割を占めていることから、農業経営体の約5分の1は何らかの形で牛を飼養していることになる。国別では、ルーマニア（64万戸）、ポーランド（42万戸）、フランス（18万戸）、ドイツ（13万戸）、アイルランド（11万戸）、イタリア（11万戸）が多い。



表 14 牛（乳牛を含む）飼養経営体数、飼養頭数および1戸当たりの飼養頭数の推移

区分/年	(単位：千戸、千頭、頭/戸、%)					増減率
	2012	2013	2014	2015	2016	
牛飼養経営体数	-	2,279	-	-	-	-
飼養頭数	86,845	87,734	88,406	89,138	89,134	▲ 0.0
1戸当たり飼養頭数	-	38.5	-	-	-	-

資料：欧州委員会「Eurostat」

注1：飼養頭数は、12月末時点のもの。

注2：2012年はEU27カ国。2013年からはEU28カ国。

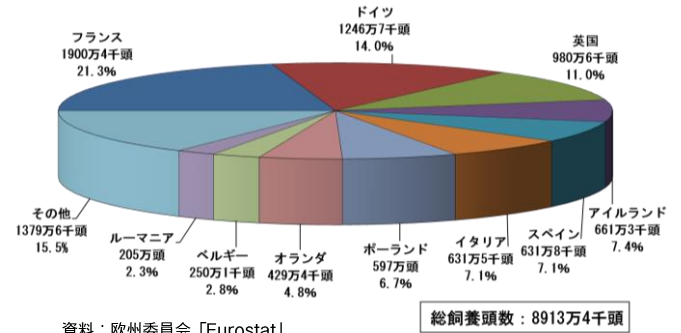
### イ 飼養頭数

2016年12月時点の牛飼養頭数（乳牛を含む）は、前年とほぼ同水準の8913万頭であった。飼養頭数が多い国は、フランス1900万頭、ドイツ1247万頭、英国981万頭と続き、この上位3カ国でほぼ半数を占める（図8）。

2013年の1戸当たり牛飼養頭数は38.5頭で、

2010年から15%増加した。種類別の牛飼養割合などは、加盟国間で違いがある（図9）。

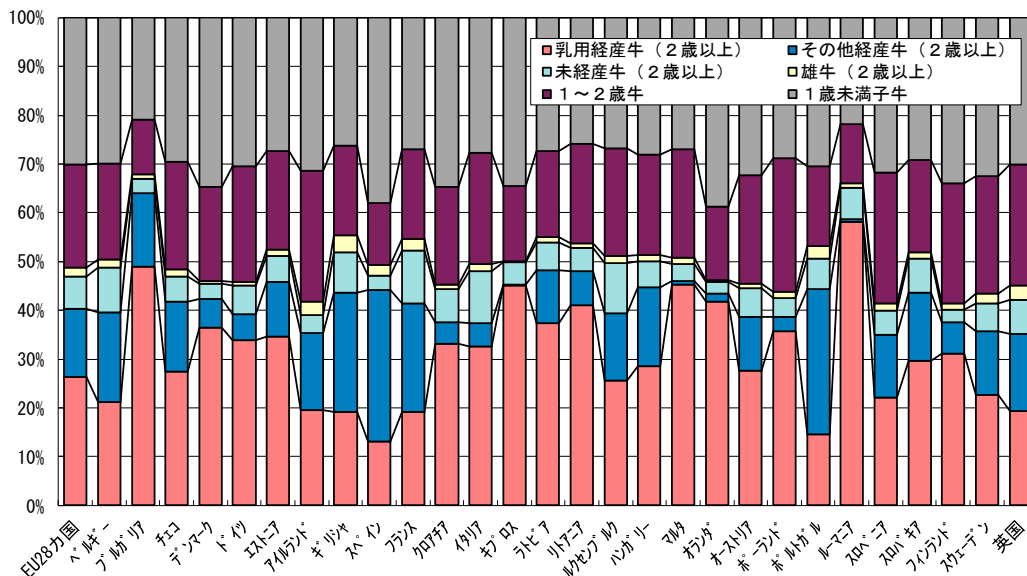
図8 国別牛飼養頭数（2016年12月）



資料：欧州委員会「Eurostat」

注：EU28カ国。

図9 国別種類別牛飼養割合（2016年12月）



資料：欧州委員会「Eurostat」

## ③ 牛肉の需給動向

### ア 牛肉生産量

2016年の牛肉生産量は、生乳生産者価格の低迷を主因として経産牛の淘汰が進んだことから、前年比2.5%増の785万トン（枝肉換算）となった（表15）。

表 15 牛肉需給の推移

区分/年	(単位：千トン、%)					増減率
	2012	2013	2014	2015	2016	
生産量	7,696	7,378	7,541	7,657	7,852	2.5
輸入量	275	304	308	300	304	1.4
輸出量	210	161	208	211	249	17.8
消費量	7,761	7,521	7,641	7,746	7,907	2.1
1人当たり消費量 (kg)	10.8	10.4	10.5	10.6	10.8	1.8
自給率 (%)	101.2	99.5	100.2	101.1	102.1	0.9

資料：欧州委員会「Short Term Outlook for EU agricultural markets」

注1：枝肉換算ベース。1人当たり消費量は純食料ベース。

注2：輸入量および輸出量は生体牛を除く。

注3：自給率は、と畜牛の枝肉生産量から枝肉換算した生体牛の輸入量を引いたのち、同輸出量を足して算出した生産量と、消費量から算定。

## イ 輸入および輸出

基本的にEUの牛肉市場は需給均衡型である。

輸入では、ガット・ウルグアイラウンド合意に基づき、さまざまな関税割当や近隣国との特惠制度が設けられている。2016年のEU域外からの輸入量は前年比1.4%増の30万トン（枝肉換算）となった。主な輸入先は、ブラジル、アルゼンチンなどである。

輸出は、2001年のBSE問題の再燃や2002年2月の口蹄疫の発生により、一時的にEU産牛肉の禁輸措置が講じられたことで長年にわたり減少傾向で推移してきた。しかし、2014年に、最大の輸出先であったロシアによる禁輸措置が講じられたことから、ロシアに代わる市場として東南アジアや中東、アジアや北アフリカ諸国への輸出を増やし、2016年は合計で25万トン（枝肉換算、同17.8%増）と前年を上回った。

## ウ 消費

最近の消費量は、2008年以降、域内生産量の減少による価格の上昇などから、減少傾向で推移していたが、2014年に増加に転じ、2016年は前年比2.1%増の791万トンとなった。1人当たり年間消費量も同様の傾向となっており、2016年は同1.8%増の10.8キログラムとなった。

## ④ 肉牛・牛肉の価格動向

2016年の牛枝肉卸売価格は、牛肉生産量の増加により、雄牛で前年比2.2%安、去勢牛で同10.8%安となった（表16）。

表16 牛枝肉卸売価格の推移

（単位：ユーロ/100kg、%）

年/区分	牛枝肉卸売価格			
	雄牛		去勢牛	
	価格	変動率	価格	変動率
2012	381.6	8.8	408.3	15.9
2013	377.9	▲1.0	437.0	7.0
2014	368.1	▲2.6	411.9	▲5.7
2015	372.9	1.3	447.1	8.5
2016	364.5	▲2.2	398.6	▲10.8

資料：欧州委員会「CIRCABC」

## （3）養豚・豚肉産業

2016年のEU（加盟28カ国）の豚肉生産量は、世界の生産量の約2割を占めている。

EUの豚肉自給率は110%前後で推移しており、純輸出地域である。中でも、わが国の主要な豚肉輸入元であるデンマークは、EU全体の輸出量の約2割を占める。EUでは、加盟国間で差があるものの、全体的に見ると食肉消費量に占める豚肉の割合は牛肉、鶏肉、羊肉と比べると最も大きい。

EUの豚肉生産は、2007年、2012年の飼料価格の高騰などの影響を受け、増産と減産を繰り返している。2011年および2012年は、2013年のアニマルウェルフェアに関する規制の完全施行に対応するため、一時的に生産は減少したが、2014年以降は、生産構造の変化により生産性向上が図られたことで、増加傾向となっている。規制内容は、具体的には、妊娠豚のストール飼いの禁止であり、繁殖母豚の飼養面積の拡張のために豚舎の増改築などの対応を必要とするものである。これにより、対応できない小規模農家は経営中止したり、繁殖、肥育の分業化、統廃合などが行われたりするなど、業界全体で生産構造の変化の動きが活発になった。

## ① 主な政策

### ア 民間在庫補助

域内の豚肉価格が低迷した場合、一定量を一定期間、在庫として保管する業者に対し、保管経費の補助が行われる。2011年は、1月にドイツで豚用飼料へのダイオキシン混入が発覚したことを受け、2月に約20日間、民間在庫補助が発動され、ドイツ、スペイン、オランダなどを中心にEU全体で14万トン強の在庫が市場から隔離された。

また、2015年3月には、前年2月のロシアの禁輸措置に伴い需給が緩和したことから、3月に8週間にわたって民間在庫補助が発動され、約6万トンの豚肉が市場から隔離された。

### イ 輸出補助金

EU産豚肉および加工品の国際競争力を高め、輸出を促進するため、輸出補助金を交付できる仕組みがある。輸出補助金の単価は、域内の市場価格と国際価格との差に基づき、品目ごと、輸出先ごとに設定される。なお、2008年8月以降の発動はない。

## ② 肉豚の生産動向

### ア 養豚経営体数

EUの養豚経営体数は、飼料価格の高騰、アニマルウェルフェアの規制強化などさまざまな要因を背景として小規模層を中心に減少し、大規模化や分業化が進む傾向にあり、2013年は、前回調査（2010年）から24%減少し、219万戸となった（表17）。

養豚経営体数は、2013年のEUの全農業経営体数（1084万戸）の約2割を占めていることから、全農業経営体の約5分の1は何らかの形で豚を飼養していることになる。養豚経営体数は、ルーマニア（128万戸）が圧倒的に多く、次いでポーランド（28万戸）、ハンガリー（13万戸）、クロアチア（8万戸）、リトアニア（6万戸）、スペイン（5万戸）となっている。小規模農家が中心となっている国で養豚経営体数が多い。

表17 養豚経営体数、飼養頭数および1戸当たり飼養頭数の推移  
(単位：千戸、千頭、頭、%)

区分/年	2012	2013	2014	2015	2016	増減率
養豚経営体数	-	2,191	-	-	-	-
飼養頭数	145,773	146,242	148,331	148,716	147,188	▲ 1.0
1戸当たり飼養頭数	-	66.7	-	-	-	-

資料：欧州委員会「Eurostat」

注1：飼養頭数は、12月末時点のもの。

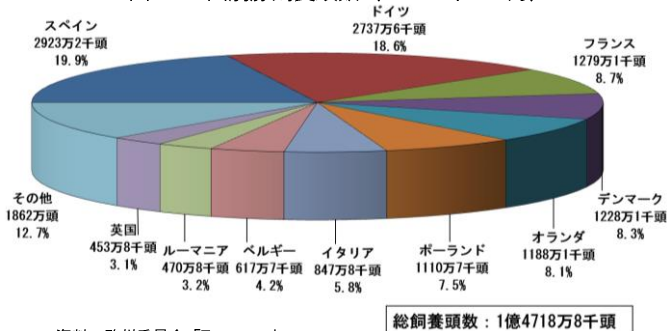
注2：2012年はEU27カ国。2013年からはEU28カ国。

### イ 飼養頭数

2016年12月時点の豚飼養頭数は、1億4719万頭（前年比1.0%減）となった。

飼養頭数は、EU全土に分布しているものの加盟国間で大きな差があり、スペイン、ドイツ、フランス、デンマーク、オランダ、ポーランドの6カ国で全体の約7割を占めている（図10）。上位2カ国のスペインとドイツのみで約4割を占めるが、特に、近年はスペインの伸びが顕著であり、2016年は同3.0%増となった。

図10 国別豚飼養頭数（2016年12月）



資料：欧州委員会「Eurostat」

注：EU28カ国。

## ③ 豚肉の需給動向

### ア 豚肉生産量

2016年の豚肉生産量は、前年比1.8%増の2388万トン（枝肉換算）となった（表18）。

表18 豚肉需給の推移

(単位：千トン、%)

区分/年	2012	2013	2014	2015	2016	増減率
生産量	22,714	22,555	22,737	23,443	23,875	1.8
輸入量	20	16	14	11	12	6.1
輸出量	2,191	2,238	1,948	2,218	2,814	26.8
消費量	20,543	20,333	20,803	21,236	21,073	▲ 0.8
1人当たり消費量 (kg)	31.8	31.3	32.0	32.5	32.2	▲ 1.0
自給率 (%)	110.7	111.1	109.5	110.5	113.3	2.6

資料：欧州委員会「Short term outlook for EU agricultural markets」

注1：枝肉換算ベース。1人当たり消費量は純食料ベース。

注2：生産量は加工等に伴う損耗を考慮した数値。

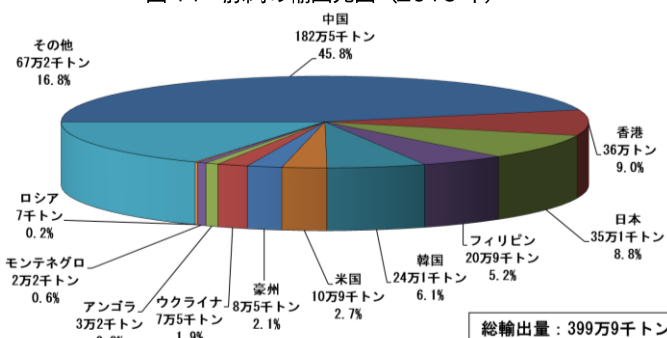
注3：自給率は、と畜豚の枝肉生産量から枝肉換算した生体豚の輸入量を引いたのち、同輸出量を足して算出した生産量と、消費量から算定。

### イ 輸入および輸出

2016年のEU域外からの輸入量（枝肉換算）は、1万2064トン（前年比6.1%増）となった。

同年のEU域外への輸出量は、特に、2016年前半に中国を中心としたアジア向けなどの輸出需要が拡大したことから同26.8%増の281万トンとなった。2014年からの禁輸により失われたロシア市場の代わりに、人口増加や経済成長を続け、需要の高まっている中国をはじめとするアジアやアフリカなどへの輸出が増加した（図11）。

図11 豚肉の輸出先国（2016年）



資料：デンマーク農業理事会「STATISTICS 2018 Pigmeat」

注1：EU28カ国。

注2：製品重量ベース。

注3：生体、内臓肉、調製品などを含む。

## ウ 消費

消費量は、近年横ばいで推移しており、2016年は前年比0.8%減の2107万トンとなった。

1人当たり消費量は、2016年は同1.0%減の32.2キログラムとなった（表18）

## ④ 豚肉の価格動向

豚枝肉卸売価格は、加盟国の代表的な市場の加重平均価格をベースとして算出される。

2016年の枝肉卸売価格は、輸出需要の増加により、前年比4.6%高となった（表19）。主要生産国であるドイツ、デンマークでもそれぞれ同6.5%高、同5.1%高となった。

表19 豚枝肉卸売価格の推移

(単位：ユーロ/100kg、%)

年/区分	豚枝肉卸売価格					
	EU		ドイツ		デンマーク	
		変動率		変動率		変動率
2012	170.5	11.3	173.8	11.6	157.4	13.3
2013	176.4	3.5	174.8	0.6	159.3	1.2
2014	156.4	▲11.3	158.4	▲9.4	146.0	▲8.3
2015	139.6	▲10.8	142.6	▲10.0	130.1	▲10.9
2016	146.0	4.6	151.8	6.5	136.8	5.1

資料：欧州委員会「CIRCABC」